

学年：2年	単元名：5. 3けたの数 -100より大きい数をしらべよう
-------	----------------------------------

1. 単元目標：(全 12 時間)

○1000 までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の学習や生活に活用しようとする態度を養う。

考判表・数を量として体感する。
 ・既習内容をもとに、単位の考え方をを使い計算の仕方を考えることができる。
 ・十進位取り記数法の考えを深める。

知・技・3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解する。
 ・3位数について、書いたり読んだりするとともに、数や式の大小・相当関係を不等号や等号を用いて表すことができる。

2. 指導内容

・

3. 指導のポイント

- 数を量として体感する。
 - ・多い、広い、高い等単位をつけ量として体感する。
 - ・「1」に対する「1000」を体感する。
 $1\text{ mm} \longleftrightarrow 1000\text{ mm}$ $1\text{ 円} \longleftrightarrow 1000\text{ 円}(1\text{ 円玉で})$ など
- 数系列もしっかりとおさえる。
 - ・1 から 1000 まで数を書かせるのも一つの方法である。
 - ・数直線を使い、数系列による大小比較も取り扱う。
- 10,100 を単位とする計算は、単位の考え方の活用。
 - ・「10 を単位にして考える」→1 の位の計算と同じようにできる。
 - ・「100 を単位にして考える」→1 の位の計算と同じようにできる。
- 数の相対的な見方
 - ・お金を使う方法がある。ただし注意が必要。生活の中では、「10 円、20 円・・・」と数えて「10 円が、1 枚、2 枚」というようには、数えない。
 - ・位別にかいたワークシートを使う。(位のものさし)

	千	百	+	-

○364 は、300 と 60 と 4 ではなく、100 が 3 つと 10 が 6 つと 1 が 4 つというふうにおさえる。

- 十進位取り記数法
 - ・「位」＝「数字をかく位置・場所」
 - ・「0」の意味。(位を表す「0」)
 - ・同じ位の数同士で考える。
 - ・数の大小比較。(上の位の数を見ればよい。)

○漢数字には、「0」がないので注意が必要。

- 漢数字→数字：位をとばさずに「0」を唱えながらかく。二千三→二千零百零十三→2003
位をとばしてかいて、後から空位に「0」をかいていく。
- 数字→漢数字：「0」がついている位をとばして唱える。2003→二千三

○1000までの数をあつかうが、それ以上の数についても考えることができるようにしておく。

- 数のきまり（十進位取り記数法）をしっかりとおさえておく。
- オープンエンドの形をとる。

○数の大小比較は、順序数、計量数両方で比較できるように指導する。

十進位取り記数法の意味

- 「数」は、「0」から「9」までの数字を使って、
書く場所(位)によって意味が異なります。
- だから、計算は、同じ位同士計算しましょう。
意味が違うものを一緒にすることはできないからです。
- はみ出したり、足りなくなったときは、隣の位と相談しましょう。
どんな相談をしたらいいか考えましょう。(くり上がり・くり下がりの考え)
- 隣の位どうしは、どんな関係があるのか考えましょう。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）
〇1000までの数を知ろう。（P50/51）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">みんなでブロックを100個以上集めよう。</p> <p>T:今日は、ブロックを100個以上集めて、1000個は、どれくらいか考えようと思います。それで、まず100個集めてみます。この牛乳パックにブロックを10個入れます。そして、この画用紙の上に並べていきます。この画用紙は、このマットの上におきます。牛乳パック1個が10、それが10個乗った画用紙は、100です。</p> <p>ぱっと見て、わかる並べ方は、わかりますね。では、みんなでがんばってやりましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 場所：多目的室 • 1cmのブロック 1000以上 • 牛乳パック 100以上 • 画用紙 10枚 • マット 1枚
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>C（ブロック集め）</p> <p>T:できましたか。確かめてみます。</p> <p>牛乳パック1つで10、2つで20、・・・10個で100 画用紙1枚で100になりました。</p> <p>では、もうあと900集めます。同じように並べていきましょう。</p> <p>C（ブロック集め）</p> <p>T:できましたか。確かめてみます。</p> <p>牛乳パック1つで10、2つで20、・・・10個で100 画用紙1枚で100です。これが、100、200・・・10個で1000です。</p> <p>T:1000とはどれくらいでしょう。感想をいみましょう。</p> <p>※子どもにいろいろ感想を述べさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 十進位取り記数法の確認
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T:そうですね。1000という数が、どれくらいかわかりましたか。自分の感じた1000という数について、ノートに書きましょう。</p> <p>（ふりかえり）</p> <p>T:画用紙2枚、牛乳パック3ことブロック5こでいくらですか？</p> <p>C:235です。</p> <p>T:こんなことについて、次の時間勉強します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の言葉で1000を表現させたい。

（まとめ）

1000は、

- ①1000（マット） 1こ（1枚）
- ②100（画用紙） 10こ（10枚）
- ③10（牛乳パック） 100こ（100こ）
- ④1（ブロック） 1000こ（1000こ）

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

〇1000までの数を読んだり、書いたりしよう。（P52/53）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>（導入） T:昨日やった画用紙を100のカード、牛乳パックを10のカード、ブロックを1のカードに置き換えます。いいですか。 ※動作化をしながら、置き換える。（イメージを変える） 1. 問題把握 T:100のカードが2枚、10のカードが3枚、1のカードが5枚で（WS①に）このようにかいて235とかいて、二百三十五と読み、二百三十五とかきます。 ※実際にカードをそれぞれが並べて、視覚的にとらえる。</p>	
<p>2. 自力解決・学び合い T:①412は、何と読みますか。→C:四百十二 T:漢数字で書くとどうなりますか。→C:四百十二 T:意味は?→C:百が4、十が1、一が2です。 T:百の位の数字は?→C:4です。 ※②意味（百を2こ、十を3こ、一を5こ）→数をかく→読む→（漢数字でかく） ③Tが読む→（漢数字でかく）→数をかく→意味 ④Tが漢数字でかく→数をかく→意味 ①③153 614 509 760 800 ②312 220 ④176 805 920 600 など ※「0」のはいる問題を必ず取り入れておく。 ※数カードとワークシートを使うが、徐々に両方なしでできるようにする。 ※位のものさしを黒板に書き、徐々に位や位の線を消していく。</p>	<p>・WS①に記入していく。 ・全員指名</p>
<p>3. まとめ・ふりかえり T:3けたの数の読み方やかき方や意味がわかりましたか。 では、2356は?何と読みますか。意味は? C:2356、千が2つ・・・・・・・・・・ T:そうです。よくわかりました。 ※P121 計ド</p>	<p>・〇つけ</p>

※漢数字には、「0」がないので注意が必要。

- ・漢数字→数字：位をとばさずに「0」を唱えながらかく。二百三→二百零十三→203
- ・唱える→数字をかく。⇒「0」のある位はとばしてかき、後から「0」をかく。
- ・数字→漢数字：「0」がついている位をとばして唱える。203→二百三

※ブロックの絵ではなく、カードで考えさせた。

（教科書では、「クリップ⇒ブロックの絵」になっている。）

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○数カードで1000までの数の意味を考えよう。（P54/55）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 ※100のカード8枚、10のカード4枚、1のカード7枚を並べる。 T:いくつをあらわしていますか。→C:847 T:どうしてですか?→C:100が8つ、10が4つ、1が7つだからです。 T:そういうことですね。WS①にかきましょう。 T:百の位が8、十の位が4、一の位が7ですね。 T:では、次の問題です。 ※100のカード5枚、10のカード10枚、1のカード3枚を並べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> いくつをあらわしているでしょう。またその理由も書きましょう。 </div> <p>T:ノートに答えと理由をかきましょう。</p>	
<p>2. 自力解決・学び合い ○603 ○5103 T:では、自分の答えと理由を班で発表し合って、班の答えと理由をWBにまとめましょう。 T:では、班ごとに説明してもらいます。 →C 班ごとに説明 ※答えや理由のちがう場合は、全体で話し合う。</p>	<p>・理由がかけない子どもには、100がいくつ、10がいくつ、1がいくつと問いかける。</p>
<p>3. まとめ・ふりかえり T:では、まとめます。 どの位でも10こ集まれば、次の位の「1」にするのですね。 では、これは、いくらですか? ※100のカード4枚、10のカード12枚、1のカード3枚を並べる。 C:523 ※100のカード2枚、10のカード15枚、1のカード13枚を並べる。 C:363 T:よくわかりましたね。では、684は? 710は? 308は? T:よくできました。では、P55④⑤⑥を教科書に書き込みましょう。 できた人は、持ってきなさい。</p>	<p>・全員で答える ・○つけ</p>

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○1000までの数を式に表したり、式の意味を考えたりしよう。（P55㉗）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 T:700と20と4をあわせた数は、724です。これを式にすると $700+20+4=724$ とかきます。 また、684は、600と80と4をあわせた数です。これを式にすると $684=600+80+4$ とかきます。 T:言葉の通りに順に書けばいいわけです。 ※記号と言葉を結び付けて説明する。「は」= 「と」「あわせた」+</p>	
<p>2. 自力解決・学び合い T:では、問題出すので、答えをノートにかきましょう。 ○250 738 403 321 630 など $250=200+50$ T:では、答え合わせをします。→答え合わせ</p>	
<p>3. まとめ・ふりかえり T:では、次に反対もやってみましょう。 ○$700+20+4=724$ を言葉になおすと 700と20と4をあわせた数は、724です。 ○$684=600+80+4$ を言葉になおすと 684は、600と80と4をあわせた数です。 T:では、問題です。 ○$500+60+2$ ○$800+5$ ○$700+50$ ※答え合わせと同時に言葉でも表現する。 T:まとめます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>式は算数の言葉です。だから、式の意味をしっかりと考えよう。</p> </div>	

第5時

学習のめあて（作業・知る・考える）

〇10を何個か集めた数を考えよう。（P56）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①10を14こ集めた数は、いくらですか？ ②10を48こ集めた数は、いくらですか？ ③10を30こ集めた数は、いくらですか？</p> </div> <p>T:数カードを使って考えましょう。</p>	<p>・数カード ・WS① ・⑩でかいてもよい。</p>
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>※答えは、ワークシート①にかく。 T:①はいくらですか。→C:140 T:どうして140になるか説明しましょう。 ※10のカード10枚で100のカード1枚になるからという説明ができればよい。 （第3時で学習済み） ※②③についても同じようにする。 T:ところで、この3問で何かきまりは、見つかりませんか。 どんなきまりが見つかったか班で話し合ひましょう。 T:では、班の代表に発表してもらいます。 C:数の後ろに「0」を1つつければいい。 C:ワークシートでは、14の4とか48の8とか30の0とかが、 十の位になるようにつければいい。</p>	
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T:それでは、みんなが言ってくれたことをまとめます。 10をいくつか集めた数は、 ①数の後ろに「0」を1つつける。 ②十の位を一の位と考える。</p> <p>T:では、100を14個集めた数は、いくつですか。 ワークシートにかいてみよう。→発表 T:ワークシートを使わないでやってみよう。 10を48個集めた数 10を125個集めた数 100を18個集めた数 など</p>	<p>100で、かいてもよい。</p>

第6時

学習のめあて（作業・知る・考える）
〇10を何個か集めた数を考えよう。（P56）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>T:今日は、前の時間の反対をやってみます。</p> <p>1. 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>①230は、10を何こ集めた数ですか。 ②360は、10を何こ集めた数ですか。 ③400は、10を何こ集めた数ですか。</p> </div> <p>T:数カードを使って考えましょう。</p>	
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>T:①はいくらですか。→C:23こ T:どうして23こになるか説明しましょう。 ※100のカード2枚を10のカード20枚にかえる説明ができればよい。 ②③についても同じようにする。 T:ところで、この3問で何かきまりは、見つかりませんか。 どんなきまりが見つかったか班で話し合ひましょう。 T:では、班の代表に発表してもらいます。 C:数の後ろの「0」をけせばいい。 C:ワークシートでは、十の位の3や6や0を一の位と考えればよい。</p>	
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T:それでは、みんなが言ってくれたことをまとめます。 10がいくつかを考えるときは、 ①「0」を1つ消せばよい。 ②十の位を一の位と考える。</p> <p>T:では、1400は、100をいくつ集めた数ですか。 ワークシートにかいてみよう。→発表 T:ワークシートを使わないでやってみよう。 360は、10をいくつ集めた数ですか。 1250は、10をいくつ集めた数ですか。 1800は、100をいくつ集めた数ですか。 など</p>	

第7時

学習のめあて（作業・知る・考える）
〇1000までの数を数の線であらわそう。（P57）

OP57 P118WS②の問題をする。

〇1めもりの大きさの見つけ方は、うまく唱えられたとき、それが1めもりの大きさになる。
 ※めもりの見つけ方は、「1・2・5」「10・20・50」「100・200・500」ぐらい。
 ※「わり算」は、まだ学習していないので、気を付けること。

第8時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○1000 についてもっとくわしく知ろう。（P58）

○問題をいろいろ示して、答えを求める。（一斉）数直線で考えさせる。

- ①1000 は、100 をいくつ集めた数ですか。
- ②1000 は、10 をいくつ集めた数ですか。
- ③900 は、あといくつで 1000 になりますか。
- ④1000 より 300 小さい数は、いくつですか。
- ⑤950 は、あといくつで 1000 になりますか。
- ⑥1000 より 70 小さい数は、いくつですか。
- ⑦998 は、あといくつで 1000 になりますか。
- ⑧1000 より 1 小さい数は、いくつですか。

※P58 の下の数直線をみながら考える。

○問題をした後、作問する。

WB に作問・答えは、ノート

↓

先生に見てもらって、合格したら WB を黒板に貼る。

↓

友達の問題を解いて、その友達に答え合わせをしてもらう。

↓

10 人ぐらい解けたら合格にする。

まとめ 1 つの数でもいろいろな見方ができる。

第9時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○1000 までの数をいろいろに表そう。（P59）

1. 問題をする。 780 は、どんな数が説明しよう。

- ①780 は、700 と 80 をあわせた数です。（式） $700+80$
- ②780 は、800 より 20 小さい数です。（式） $800-20$
- ③780 は、10 を 78 こあつめた数です。（式） 10×78 78×10

※P59 の下の数直線で説明する。

※前時でやっているのので、問題を 3 つに絞る。

※式を中心に考えさせる。

2. 類題をする。（980・520・200 など）

- ①②③の言い方で表現する。

3. 各自で数を決め、3 つの言い方で答えをかく。WS③（個別指導）

まとめ 1 つの数でもいろいろな見方ができる。

第10時

学習のめあて（作業・知る・考える）

〇何十・何百の計算を考えよう。（P60/61）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 50+70はいくらになるか答えの出し方を考えよう。 T:絵や図にかいて説明しよう。 数カードを使ってもいいですよ。</p>	<p>・WB 数カード ○図</p>
<p>2. 自力解決・学びあい T:いくらになりましたか。→C:120 T:なぜそうなったかを説明してもらいます。 C:(説明) ※10がいくつと考えたら今までの計算が使えるという事が説明できればよい。 10が、50→5 70→7 5+7=12 10が12で120 T:そうですね。ひき算もできますか?→C:できる。 T:120-30は?→C:90 T:どうしてですか?→C:10がいくつと考えると120→12・・・・・・・・・・ T:そうですね。では、300+200の計算はどうすればよいでしょう。 C:100がいくつと考えればよい。 T:そうですね。いくらですか。→C:500 T:では、500+30は?→C:530 T:どうしてですか?→C:10がいくつと考えると50+3で10が53で530 T:そうですね。では、530-30もできますね。 C:10がいくつと考えると53-3=50だから500</p>	
<p>3. まとめ・ふりかえり T:では、まとめます。 何十・何百の計算は、 10や100がいくつと考えると今までと同じように計算ができる。 (ふりかえり) P60① P61② P61③ ①10が、20と8で10が28。だから280 ②10が、28から8を引くと10が20。だから200 ③1が600と7で607。 ④1が607から7を引くと600 ※③④は、位を別々に計算するという筆算の考え方で計算する方が 分かり易いと思われる。</p>	<p>・○図で説明してもよい。</p>

※絵は、⑩でかくと、わかり易い。⑩⑩⑩⑩⑩+⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩

第11時

学習のめあて（作業・知る・考える）
〇数の大小を比べよう。（P62）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握</p> <p>東小 398人 西小 412人 南小 465人</p> <p>T:3つの学校の子どもの人数を比べます。 東小と西小では、どちらが多いですか。→C:西小 T:西小と南小では、どちらが多いですか。→C:南小 T:どうして、すぐにわかるのですか。説明をかきましょう。</p>	<p>• WB</p>
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>〇百の位→十の位→一の位と順に比べればいい。 〇順序数として考える。 〇数カードでくらべる。 T:では、発表してもらいます。→C:発表。 T:そうですね。では、東小と南小では、どちらが多いですか。→C:南小 T:そうですね。</p>	<p>• 個別指導</p>
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T:数の大小は、><な記号を使います。 >は、こちらが大きいという事です。 では、<は?→C:こっちが大きい。 T:そうです。この記号を使うとこうなります。 412>398 412<465・・・・・・ (ふりかえり) T:では、この記号を使ってP62①をしましょう。 できた人は、持ってきてきましょう。</p>	<p>• ><の記号。 動作化</p> <p>• 個別指導</p>

第12時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○覚えた記号を使って問題を解こう（P63）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>たいちは、150円持っています。 80円のジュースとおかしを買います。どのおかしが買えますか。 おかし（50円・100円・70円）</p> </div> <p>T:50円のおかしは買えますか。→C:買えます。 T:どうしてわかりますか。→C:80円と50円をたすと130円になり、150円より少ないからです。 T:そうですね。そのことを式にかくと 150>80+50とかきます。そして答えは、50円のおかしは、かえる。です。 T:では、100円のおかし、70円のお菓子の場合を式にかきましょう。</p>	
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>○150<80+100 答え 100円のおかしは買えない。 ○150=80+70 答え 70円のおかしは、ちょうど買える。 C:(発表)答え合わせ。 T:記号の使い方がわかりましたか。では、問題です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ひろしさんは、150円持っています。ジュースとお菓子のうち2つを買おうと思っています。買えるでしょうか。買えないでしょうか。記号を使って表現して買えるか買えないかを答えましょう。</p> </div> <p>T:できましたか。答え合わせをします。→C:発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 個別指導 • 指名 WS④ • 指名
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T:では、まとめます。 大>小 小<大 同じ=同じ</p> <p>(ふりかえり) T:P63②をしましょう。 できた人は、持ってきなさい。</p>	

第13時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○たしかめよう 算数の目（64/65）

※計画より1時間多くなっている。